

# 議会だより

第153号

2012年8月

# にらさき

第2回定例会 .....	P2
ここが聞きたい（一般質問） ..	P5
こども議会 .....	P9
3常任委員会合同研修 .....	P10



**こども議員のみなさん**  
(市内の各小学校6年生)  
平成24年7月31日

## 第2回定例会

平成24年第2回韮崎市議会定例会は、6月7日に招集され、会期を6月22日までの16日間と定め審議を行いました。

今議会で審議された案件は、条例の改正や補正予算など15案件を審議し、すべて原案のとおり可決・承認・同意等されました。

### 【補正予算】

一般会計補正予算（第1号）及び下水道特別会計補正予算（第1号）が、財務常任委員会で審査された後、本会議で可決されました。

おもな内容は以下のとおりです。

### ■平成24年度韮崎市一般会計補正予算（第1号）

《補正予算額》 4,256万円

歳入	歳出
●住宅・建物耐震改修等事業費補助金 30万円	●議会活動費 75万1千円
●安心こども基金子育て創生事業補助金 630万円	●庁舎管理事業 1,170万2千円
●木造住宅耐震改修事業費補助金 15万円	●未収金対策研究事業 33万円
●分収造林受託事業収入 45万円	●児童手当施行事務費 630万円
●コミュニティ助成金 1,840万円	●保育園再編推進事業 170万3千円
●市町村調査研究事業助成金 30万円	●分収造林事業 45万円
●財政調整基金繰入金 1,666万円	●木造住宅耐震改修設計事業 60万円
	●下水道運営費 231万3千円
	●消防団運営事業 101万1千円
	●地区公民館運営事業 1,740万円

## ■平成24年度韮崎市下水道特別会計補正予算（第1号）

《補正予算額》 231万3千円

歳 入		歳 出	
●一般会計繰入金	231万3千円	●下水道事務費	231万3千円

### 【人事案件】

以下の人事案件について推薦しました。

#### ■人権擁護委員候補者の推薦

小 泉 千寿子（藤井町南下条）

#### 議員辞職許可について

平成24年6月13日付けにて、神田明弘議員より韮崎市議会議長に議員辞職願が提出されました。

市営住宅への入居問題について、道義的責任は免れず、深く反省し議員辞職を申し出たものであります。

平成24年6月18日の本会議において、議員一同の賛成により、議員辞職を許可しました。

#### 【条例制定（一部改正）】

##### ◆韮崎市国民健康保険税条例の一部を改正する条例（専決）

地方税法の一部改正に伴い、韮崎市国民健康保険税条例の附則に関して条例を改正しました。

##### ◆住民基本台帳法の一部を改正する法律等の施行に伴う関係条例の整備に関する条例

外国人住民の住民基本台帳制度の開始に伴い、住民基本台帳法に係る条例等を改正しました。

##### ◆韮崎市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例

市立病院医師の処遇の改善を図るため、診療科部長職を新設しました。



## 請 願

1 案件が継続審査、2 件が不採択となりました。

### 総務教育常任委員会に付託された請願

#### 請願第2412号

☆「取調べの全過程の可視化を求める意見書」の採択を求める請願

#### 請願の主旨

検察、警察の違法・不当な取調べをめぐる問題が相次いで表面化しています。

放火事件の犯人とされた男性に對して、検事が取調べで誘導を繰り返していたことが取調べ状況を録画したDVDにより発覚し、起訴が取り消されました。密室の取調べで虚偽の「自白」が強要され、深刻な人権被害を生んだ事件です。被疑者と検察官、警察官がどのようなやりとりをしたのか、その一

部始終を録音・録画し、検証可能とすることによって、取調べの適正化がはかられます。捜査機関の違法・不当な取調べの新たな被害が生まれ続けています。人権を守り、冤罪を生まぬ司法へ、可視化実現は待ったなしです。

#### 審査結果

さらに研究する必要があるとの意見多数により継続審査と決しました。

#### 請願第2413号

☆消費税増税をやめることの見解の提出を求める請願

#### 請願の主旨

経済の状況が格段に厳しく景気低迷が続く中での引き上げです。

消費税の問題点は①所得の多い人ほど負担が軽く、少ない人ほど重いという逆進的な税であり格差をいっそう拡大させます。②中小零細企業は、消費者に消費税増税

を転嫁できず、自ら負担せざるを得ないところが多く倒産や廃業につながります。

1997年に消費税3%から5%への増税は、当時、回復の途上にあつた景気を悪化させました。

#### 審査結果

昨今の経済環境の中で増税には色々の意見が出ているが、少子化時代の中で社会保障が課題であり、その税源確保のため増税は止むを得ない。一方、社会保障を何とかするために低所得者から取るのは逆転した考えだとの意見もありました。

採決の結果、不採択と決しました。

### 市民生活常任委員会に付託された請願

#### 請願第2316号

☆山梨県に重度心身障害者医療費助成制度の現行のまま継続することの意見書を求める請願

#### 請願の主旨

重度障害者は、低所得者が多く医療費の立替が困難である。そのため、償還払いでなく窓口無料にしてほしいと長年要求してきた。

2008年度から窓口無料化が実施されたが、2011年9月県議会で知事は、窓口無料化から償還払い方式に変更する検討を示唆した。

現行のまま継続することの、意見書を求めるものです。

#### 審査結果

本件に関しては、現在県において助成が継続されていること。また、本請願については、本来国に求めるべきものとの認識から採決の結果、不採択となりました。

# 一般質問

## にらさきのまちづくり ここが聞きたい

### 8人の議員が市政を問う

一般質問の内容は、項目は抜粋、質問と答弁は要約したものです。  
詳細な内容は、[葦崎市ホームページ⇒議会⇒会議録](#)で確認することができます。録画中継も配信しています。

#### 都市計画マスタープランについて

**質問** 市内全体の都市計画道路の見直しを行う場合、どのくらいの期間及び費用が必要と考えているかお伺いいたします。  
次に今後の都市計画制度等への反映と活用についてであります。



高添 秀明 議員  
[葦政クラブ]

#### その他質問

- ◆地域からの要望の状況とその結果について
- ◆今後の対応について

**答弁**市長 まず、都市計画道路の見直しにつきましては、3年の期間と2千万円程度の費用を見込んでおります。

次に、今後の都市計画制度等への反映と活用につきましては、直ちに区域の拡大や用途地域の見直しを行うことは考えておりません。

今後、まちづくりに関する施策を進める中で、関係マスタープランや土地利用の状況などを考慮し、見直しの必要性について判断してまいります。

#### 七里岩台上の水路整備について

**質問** 今年度の当初予算に「七里岩台上排水路整備計画策定業務」の費用が計上されております。

この整備計画は、地域からの長年の要望でもあり速やかな事業の推進を期待しております。しかし今回の事業は穴山町の

石水・夏目・伊藤窪・次第窪の地域が対象と聞き及んでおります。  
七里岩台上で排水路が整備されていない地域は、他にも多数存在しております。

今回この事業を実施するに当たりましては、七里岩台上で排水路問題で困窮している地域全体を事業の対象にすべきと考えます。市長の見解をお伺いいたします。

また、今後順次水路の整備を行うことが大切であります。市の財政も非常に厳しい時期で財政的に難しいと考えますが、地元の人たちは、市長の特段の配慮を期待しております。市長の見解をお伺いいたします。

**答弁**市長 まず、今年度の事業につきましては、穴山町から中田町中条上野までの地域を対象とした排水整備計画を策定する為の調査及び測量を実施する予定であります。  
次に今後の計画的整備につきましては、整備計画に基づき、地元要望及び意見を聞いたうえで優先的に整備する区域や水路を決定し、重要度及び緊急度の高い水路から順次、整備してまいります。



西野 賢一 議員  
[荏政クラブ]

その他質問

◆荏崎市の観光行政について

保育園の統合問題について

質問 荏崎市の保育園統合問題は「こども園」等を視野に入れた難しい計画となると思うが、9保育園から統合し4保育園にとの、統合に向けた進捗状況と今後の計画は。

荏崎市長 本年3月の保育園再編整備計画策定委員会での提言を踏まえ、現在、施設の規模や設置区域、建設スケジュールなどを盛り込んだ保育園再編整備計画を策定中であり、策定後は、新たに荏崎市再編保育園建設構想委員会を設置し、建設に向け具体的な準備を進めてまいりたいと考えています。保育園の再編整備計画は待機児童の解消を初め、保育サービスの向上、充実を目的に進めております。

質問 保育園入園条件の

中に仕事についている、もしくは仕事を探しているとの項目があるようですが、保護者にはいまいちとつ明確に伝わっていないようだが。

荏崎市長 就職活動中でも入園できることは案内書にも明記しておりますが、なお一層の周知を図ってまいります。また、就職活動中の事実確認については、申し込みの際に求職中申し立て書の記載内容を確認し、就職活動中か否か判断をしております。

子宮頸がんワクチンについて

質問 今年度、国の助成措置が切れる子宮頸がんワクチンは、荏崎市は特例で高校1年生までのワクチン接種が国・県・市の補助で無料接種となっているが、今後とも今までどおり無料接種を続けて

いけるのか。

荏崎市長 現在、国において調整が進められておりますが、本年度が子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進事業の最終年度となることから、予防接種法に基づく定期の予防接種に移行することが検討されているところであり、予防接種に移行した場合の費用は、全額市負担となりますが、引き続き無料接種できる方向で考えております。

質問 定期予防接種に移行すると、当然ヒブ、小児肺炎球菌等も同様の扱いになると思いますが、市負担の無料接種と考えるとよいのか。

荏崎市長 子宮頸がんワクチンほかヒブ、小児用肺炎球菌ワクチンにつきましても同様な措置になるかと思えます。



清水 一 議員  
[荏政クラブ]

その他質問

◆甘利山の観光振興と自然保護について  
◆スポーツ施設等の利用要綱の効果的運用について

「観光都市にらさき」のまちづくりと将来展望について

質問 甘利山や鳳凰を中心とした山岳観光や新府城跡や武田の里を基盤とした歴史観光、輝かしい荏崎高校サッカーの歴史を背景とした「サッカーのまちにらさき」のまちづくりなど、我が市の今後の進むべき将来のまちづくりの一つとして「観光にらさき」を重要な柱として位置づける必要があると思えます。即ち、我が市独自の個性ある観光施策をどのように展開して行くかということであり、また、「観光にらさき」のまちづくりの将来像（ビジョン）について市長の考えは。

荏崎市長 我が荏崎市には、恵まれた自然環境と四方の山々が織り成す素晴らしい景観、武田発祥

の地としての全国に誇る文化財、史跡等の観光資源が豊富にあり、観光基盤の整備や魅力ある観光施設の充実が市の重要な柱であると認識しております。その観光資源を生かし、見る観光から参加する、体験する行動型の観光に移行したエコツーリズムやグリーンツーリズムなど、多様化する観光客のニーズに応えるため官民一体となって取り組むことが必要であります。

東日本大震災における震災がれき受け入れについて

質問 昨年3月11日に発生した東日本大震災から1年3ヶ月が経過いたしました。大地震と津波によって未曾有の大被害をもたらしました。被災地では今もなお復興に向けて全力で取り組んでいるところですが、災

害のもたらした傷跡は大きく、なかなか進まないのが現状であります。特に福島県においては、大地震、大津波に加え、福島第一原子力発電所の爆発事故による放射能の大量飛散という放射能被害により、自らの住まいはもとより、住みなれたその地域からも避難を余儀なくされ、いつ戻れるかも分からない極めて深刻な状況に置かれている現状であります。

そうした中、政府は若手県及び宮城県は震災がれき約2千万トのうち、20%に相当する約4百万トを被災地以外の広域で処理する方針を出し、今、その受け入れの是非に関する各自治体の判断が迫られています。荏崎市においては、この問題に対しどのように対応すると考えておりますか。

荏崎市長 受け入れに当たっては放射性物質による安全性の確保が最優先であり、それに伴い最終処分地も含めた地域住民の理解が不可欠と考えております。

国の動向を注視して県と連携を図り対応してまいります。



清水 正雄 議員  
[共伸クラブ]

その他質問

- ◆経済活性化への戦略について
- ◆表彰規則の見直しについて
- ◆職員の人事及び意識改革について

塩川堤防の安全対策について

**質問** 本市は過去において塩川、釜無川両河川の氾濫により、貴い生命、財産が失われました。その後、堤防の改修等が進み危険箇所は少なくなりましたが、塩川においてはまだ整備不十分なところが見つけられます。住民が安心して生活できる環境をつくるため、市は積極的に点検を行い危険箇所の改修促進を河川管理者である山梨県へ強く要望したらいいでしょうか。

**回答** 市長 塩川の安全対策につきましては、県では河川パトロールにより河川監視をしており、堤防に破損等があれば対応することです。また塩川は改修済みの河川でありますので、新たな整備計画は無いとのことですが、補修等が必要な箇所

所につきましては、引き続き要望してまいります。

辺地指定を受けている上今井地区にバイオマス事業導入について

**質問** 穂坂町上今井地区は辺地に指定されており、若者の地元離れが進んでいる状況です。地区内には間伐材や竹など木質系資源に恵まれています。「小規模分散型バイオマス油化装置」を活用すると、1トから約350kgの生成油が抽出することが可能であるばかりでなく、地元雇用が創生され、また、森林整備につながります。辺地のモデル事業に導入できないでしょうか。

**回答** 市長 バイオマスを利用した小規模分散型油化装置につきましては、開発されて間もないため実績に乏しいのが実情で

街路灯電気料の助成について

**質問** まちなかの街路灯は、各まちの商店会により維持管理されており、この商店会も会員の減少と度重なる電気料の値上げで街路灯の維持が難しくなっています。この度の電気料金の値上げ分について増額助成することについてのお考えは、

**回答** 市長 11の商店会に対し明るいイメージ作りと活性化をはかるために街路灯電気料の一部を交付しています。本年度の電気料金値上げ分については、相応の対応をする必要があると考えます。

まちの活性化について

**質問** 平成20年から5年計画で策定された、葎崎市まちなか活性化計画は本年度で終了します。さまざまな施策が懸命に実施されましたが、現在もなお厳しい状況下にあります。事実、駅前や本町通り商店街の疲弊ぶりは目を覆うものがあります。まちが活性化すること、商店街が活性化することと同義語であります。のれんによる町並みづくり、きらり会、プレミアム商品券等の状況はいかがですか。

**回答** 市長 のれんのある町づくり事業は、各店のほか、JR葎崎駅、公共建物など160か所に掲出しました。また、マップやガイドブックを作成し、個店や、のれんをわかりやすく紹介してお



秋山 泉 議員  
[共伸クラブ]

その他質問

- ◆雲岸寺西側の水路改修について
- ◆震災がれき処理について
- ◆生活保護について

ります。「古風な雰囲気が良いと新規の客も来店している」、「店を改めて認知してもらえた」、「お店への入りやすさや信頼感を演出している」など評価をいただき、成果を上げていると考えます。

穂坂上ノ山工業団地から上ノ山へのアクセス道路について

**質問** 昨今葎崎インター周辺の交通事情は大きく様変わりし通行量の変化に伴い、思わぬところに渋滞や危険箇所が発生してきました。農道において果樹地帯の作業や消費の作業車が駐車できず、一般車の通行にも支障が出ています。農繁期を迎え不慮の事故も心配されます。対応をともめます。

**回答** 市長 地域住民及び通行者の安全確保を図るため穂坂97号線南側に車

止めパイプを設置しました。さらに警戒標識や路面標示などを設置し一般車両に対し注意喚起を行い安全対策を図ってまいります。

穂坂水耕栽培農園(ベジタブルラウンジ)について

**質問** 葎崎インターの北にビニールハウスが4棟放棄されたままです。耕作放棄地の解消と緊急雇用対策をも考慮したなかで、当市でも大いに期待し助成をしてきた事業の一つでした。3年を経ずに閉鎖、放棄されたままです。これに対する当局の対応をともめます。

**回答** 市長 農業従事者の雇用、地域農業の担い手育成、農業経営の多角化等当市のPRとして葉物野菜を中心に生産を開始しましたが、グループ企業の販売不振から廃業となりました。平成21年度約1338万円、22年度約671万円、市からの助成金総額は243万円です。

現在まで連絡の取れない状況にあり、連絡先を調査し農地の適正管理の指導をしてまいります。



小林 伸吉 議員  
[公明党]

その他質問

- ◆学校などの公共施設の耐震化と防災機能の強化について
- 1) 公立学校施設の防災機能の強化について
- 2) 市営体育館の耐震化について
- ◆救急医療情報キットについて
- ◆市民バスと高齢交通弱者支援モデル事業の今後の展開について
- ◆小林一三翁・生誕140周年記念事業について

道路や橋の点検と耐震化などの対策について

**質問** 道路や橋、上下水道、建築物の社会基盤(資本)は、耐用年数が50〜60年とされ、2029年度には、道路や橋などの社会基盤の約半数が50年以上になる。先進的な自治体では、長寿命化への取り組みが実施されており、経費の軽減を図っている。そこで、本市の橋の点検状況と結果を伺う。また、先進的自治体の様に計画的な維持修繕等の長寿命化への取り組みが必要と考えるが市の考えは。

**答弁**市長 点検の対象橋梁は125橋あり、その内昨年までに105橋の点検を実施した結果、40橋の修繕が必要でありました。更に2029年に耐用年数になる橋が12橋あります。橋梁点検の結

果に基づいて橋梁長寿命化修繕計画を本年策定し、明年からこの計画に基づき優先順位の高い橋から順次修繕、耐震化を開始する予定です。

通学路の交通安全点検と対策について

**質問** 4月末に集団登校する小学生の列に車が飛び込み、児童が死傷する痛ましい事故がたびたび発生し、全国各地の小学校では、通学路の安全点検が実施されている。本市の通学路の安全点検の状況を伺う。また、毎年市内の小・中学校で教員保護者などが通学路の安全点検を行い、それを義務教育振興の「通学路の安全確保のための整備に関すること」として市に要望しているが、本市の取り組み状況は。

**答弁**教育委員長 今回の

事故後、通学路の再点検をするともに、必要に応じ見直しを検討するよう各学校に指導するなど通学路の安全確保に向けての取り組みを一層強化しています。

昨年の義務教育振興のための要望事項の通学路に関する要望は31件あり、その内道路の構造などで実施困難4件、実施済今年度実施中6件、地区等で調整・申請手続き中8件、県や公安委員会に申請中8件、対処方法を検討中8件です。

**質問** 通学路の安全点検について、学校と行政と警察の合同の点検を実施するような通知もあると聞いているが。

**答弁**教育課長 文科省、国交省から通知が来ており、現在県が中心となり、連絡会議を夏ごろまでに開くように指示を受けています。



小林恵理子 議員  
[日本共産党韮崎市議団]

その他質問

- ◆保育園再編整備計画について
- ◆生活保護制度の運用について

高齢者医療費助成に存続を求めよ

**質問** 県が、68・69歳の低所得者の医療費を助成し、自己負担を1割に軽減している制度を廃止する方針を固めたことが明らかになりました。県と市で2分の1ずつ負担しているものです。

年金の引き下げ、介護保険料、国保税の引き上げなど、高齢者の暮らしは、ますます厳しくなっています。他県に比べて優れた制度を廃止するべきではありません。県へ継続を働きかけ市の助成も継続すべきです。

**答弁**市長 県で、高齢化の増加に伴う財政負担、国民健康保険へのペナルティや現行の国の制度等を踏まえ、廃止が検討されており、やむを得ないと考えます。県が廃止した段階でも廃止する考えではありません。

訪問介護サービス見直し後の実態は

**質問** 4月から訪問介護の生活援助の時間区分が変更されました。60分の援助が一律45分に短縮されかねない懸念され、厚労省も従前の時間は可能との通知を出しています。この通知の徹底はどう行われたのか。

「時間が短くなり同じ援助がしてもらえない」などの声が寄せられています。一律45分の時間短縮がされていないか、納得の上でサービス内容が決められているか実態を把握すべきです。

**答弁**市長 県が事業者説明会で周知し、市は、訪問介護員の研修会で周知しました。実態把握は、介護支援専門員による会議を定期的に開催する中で努めてまいります。

市民バス割引制度他路線でも利用を

**質問** 市民バスは、昨年度よりバス料金の割引制度を始めました。65才以上と障害者は1回100円。3ヶ月・1年間のパスも発行。ホリデー割引は誰でも100円。期間限定で児童・生徒1回50円などです。「民間のバス路線でも割引制度が利用できるか」という声があります。

市内を高齢者・障害者がバスを使って移動する場合は、同じ制度が利用できるようにしていくべきです。

**答弁**市長 当該路線バスは近隣他市にもつながる広域的な路線として、国庫補助事業の認定を受けているので、本市のみの割引制度を導入することは困難と聞いております。



藤嶋 英毅 議員  
[経世クラブ]

### 太陽光発電の推進について

**質問** 福島原発事故の原因究明がなされていない原子力に対するまともな規制機関がない、など安全性が確保されておりません。24年3月議会で、**荊崎市議会**は、原子力発電から自然エネルギーへの転換を目指す意見書の提出を求める請願を、採択し、エネルギー政策の方向転換を求めたところでありました。

により太陽光発電の普及に努めております。昨年の原発事故に伴う代替エネルギー確保の面からも太陽光発電は有効な手段と考え、本年度更に補助の引き上げを行い積極的に設置推進に取り組んでおります。

### 児童センターの午前開館について

**質問** 児童センターの午前中の閉館については、少子化が進行する中で、子育て支援の必要性が社会的に叫ばれている中で、問題のある処置だと考えられます。思ったとおり利用者から、217人分の署名と一緒に、午前中の開館要望書が提出されました。市は、児童センターの午前の開館を再開すべきと思いますが、市長の所見を伺います。

**荊崎市長** 5月より全ての児童センターの施設の一部を開放し、一定の要件を満たす子育て市民団体に貸し出すことと致しました。従前の運営形態での再開を求める要望につきましても、真摯に受けとめておりますが、児童センターの機能を子育て支援センターに集約したことは、厳しい財政状況を踏まえての判断でありますので、当面は現状での運営を行い、その利用状況等を見極めたいと考えております。

### 西中学校正門周辺の道路整備について

**質問** 保護者の送迎車両を含め、登下校時の混雑状況は、車両の通行時障害になっております。改善を求めます。

**荊崎市長** 本年度、県道と市道神山3号線との交差点部の改良工事が実施され、今後の整備は、未定と伺っております。早急に整備するよう要望してまいります。

## こども議会が開催されました。

今年度も7月31日(火)市内の各小学校6年生18名が議員となり、本会議場で開催されました。

一般質問は、議長、副議長を除く16名が行い、まちづくりや防災対策、また、商業施設の誘致、スポーツ振興など市政各般にわたり、自分の夢や希望を膨らませ質問しました。

答弁は、市長・教育委員長・教育長・課長などが答えましたが、小学生とは思えないほどの立派な質問でした。



横内こども議長

議長	横内 虹輝	甘利小学校6年
副議長	松田 健史	荊崎小学校6年
議員	功刀 瑠佳	//
議員	田邊 紗妃	//
議員	八巻 美都	//
議員	大柴 岳	穂坂小学校6年
議員	宮川 響	//
議員	新藤 大輝	荊崎北東小学校6年
議員	口分田 悠真	//
議員	中山 寧々	//
議員	青山 知花	//
議員	功刀 瞳	荊崎北西小学校6年
議員	深澤 大斗	//
議員	狐塚 理子	//
議員	堀内 良紀	甘利小学校6年
議員	清水 優日	//
議員	石川 文乃	//
議員	秋山 遥香	//

7月10日及び11日に3常任委員会合同視察研修会を行い、宮城県気仙沼市・石巻市・女川町の東日本大震災から1年4カ月後の復興状況を視察致しました。



## 1 気仙沼市

気仙沼市は、宮城県の北東端に位置し、東日本大震災関連の被害は、地震、津波、大火災により死者行方不明者1,319人、住宅被災15,661棟です。

視察では、当時津波により港から流され打ち上げられた排水量330トンの巻き網漁船、第十八共徳丸を見学し、津波の威力の凄さを目の当たりにしました。

また、気仙沼市議の守屋氏により、震災により職を失った人たちへの雇用創出、復興に関する事業を興す一般社団法人気仙沼復興協会の立ち上げと気仙沼市の復興計画策定等について説明を受けました。

## 2 南三陸町防災庁舎

南三陸町では、37名の職員が屋上に昇っていた防災庁舎ですが、町長以下10名のみが助かりました。赤茶けた鉄骨のみが残る庁舎跡に手を合わせ、その凄さを噛みしめました。



## 3 石巻市立大川小学校

校庭に避難していた児童108名中84名、教職員13名中10名が死亡または行方不明となった石巻市立大川小学校の被災状況を視察しました。

## 4 石巻市石巻漁港

石巻漁港周辺で甚大な被害を受けた場所と、山積みされた震災がれきの状況を視察しました。石巻市石巻魚市場買受人組合理事長の布施氏により、漁港の復興に関する説明等を受けました。



## 5 女川町廃棄物選別処理施設

女川町廃棄物選別処理施設の震災がれき選別施設を視察見学しました。選別作業は、人の手による選別を行い、がれきを木くず、金属、石などに選別し、放射能測定については、1時間に1回の測定によりその数値を公表しているものでありました。

## 東北被災地視察研修をおえて

大自然の猛威、地震と津波に翻弄された東北の被災地。さらに放射能汚染までと三重苦に見舞われたかの地を訪れた我々は、激しい衝撃にしばし言葉を失いました。膨大な瓦礫の山山、石巻市、女川町の瓦礫処理施設、最終的には手作業での仕分け、徹底した1時間ごとの放射線量の計測に、苦悩のほどがわかります。

- マグニチュード 9.0 (気象庁観測史上最大)
- 死者・行方不明 19,515人
- 被害額 16.9兆円  
(斐崎市予算の約1,000倍か)
- 義捐金 3,500億円

現状の瓦礫の山を片付けないと処理できていない瓦礫を搬入できないなど、復興再起するためには、とにかく瓦礫を処理しなければ次のステップに進まないという、被災者全員の悲痛な叫び声が視察研修した我々の耳に残りました。

また、この視察研修で学んだことは、日頃からの防災、減災に対する住民意識の高揚と訓練、自助・共助・公助の大切さを改めて教えられました。

総務教育常任委員長 岩下 良一  
市民生活常任委員長 西野 賢一  
産業建設常任委員長 秋山 泉



# 研修報告



## ■ 韮崎市議会議員夏季研修

韮崎市議会では、「韮崎市議会・議会改革推進特別委員会」を設置し、議会改革について調査研究を行っているところであります。

今回、「地方議会改革宣言」などの著者で知られる野村 稔先生により、議会改革の必要性と進め方を研修いたしました。

研修日：平成24年8月2日(木)  
講演：「議会改革について」  
講師：全国都道府県議会議長会  
元議事調査部長 野村 稔 氏

## ■ 山梨県市議会議長会議員合同研修

山梨県市議会議長会議員合同研修の一環として、アピオ甲府において研修が開催され、本市議員が多数出席いたしました。

研修日：平成24年8月10日(金)  
講演：「厳しさを増す地方財政の今後」  
— 社会保障改革の行方と  
これからの地方財政 —  
講師：関西学院大学・大学院教授  
小西 砂千夫 氏

## ■ 韮崎市議会議員減災研修

議員の減災に対する認識を高めるため、議員全員による「減災に強いまちづくり」についてのポイントや減災リーダーの役割などの研修を行いました。

研修日：平成24年7月23日(月)  
講演：「減災に強いまちづくり」  
地域防災・減災研修  
講師：NPO法人 減災ネットやまなし  
理事長 向山 建生 氏



## 編集後記

先日の「ロンドンオリピック」では、日本メダル歴代最多の38個となり、中でも韮崎工業高校出身の米満選手がレスリングで24年ぶりに金メダルを取るなど、私たちに夢と感動を与えてくれました。これからも日本人であることに誇りを持ち、震災後の幾多の困難をも克服できるものと信じております。

私ども市議会議員も、市民の福祉向上のため、さらに議会活動に取り組んでまいります。

議員長	野口 紘明
副委員長	森本由美子
委員	清水 一
〃	清水 正雄
〃	岩下 良一
〃	秋山 泉
〃	西野 賢一

- 9月 6日(木) 開会  
諸報告  
市長所信表明
- 18日(火) 一般質問  
19日(水) 一般質問  
20日(木) 議案審議委員会
- 21日(金) 財務常任委員会  
25日(火) 議案審議委員長報告  
閉会

※上記日程は、定例会前の議会運営委員会で正式に決定されます。  
※委員会を傍聴する場合には事前に申し込んでください。  
※本会議は、インターネットでライブ中継・録画中継を配信しています。

## 9月定例会日程